

臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞ COVID-19肺炎における晩期合併症の予測に関する探索的観察研究
＜研究機関・研究責任者名＞ 日本大学医学部附属板橋病院 呼吸器内科（研究責任者）神津 悠
＜研究期間＞ 承認日 ～ 西暦 2021年3月31日
＜研究の目的と意義＞ COVID-19肺炎は新型コロナウイルスによる肺炎です。肺炎の重症度は様々であり、陰影が残存してしまったり、線維化を起こすことがあります。COVID-19肺炎による長期的な影響に関しては不明な点が多く、どのような方が長期的な合併症を起こしやすいのか、どのようなメカニズムが関与しているのかを検討する必要があります。今回の研究では、ご提供をいただいた血液や情報、測定データを用いることで、晩期合併症を予測するバイオマーカーの同定を行います。 ※バイオマーカー：身体の状態を客観的に評価するための指標のこと。検診などで用いられる血液バイオマーカーとしては、大腸がんを検出するためのCEAや前立腺癌を検出するためのPSAなどがあります。
＜利用する試料・情報の項目＞ 血液およびカルテの記載内容、日常診療で実施した各種検査結果の情報を利用させていただきます。
＜対象となる患者さん＞ 西暦2020年2月14日～西暦2021年3月31日の期間に肺炎を伴う新型コロナウイルスに感染した方が対象となります。
＜研究の方法＞ 新型コロナウイルスによる肺炎に罹患し、様々な合併症を患った方の血液を用いて、合併症を伴った方のみで増加または減少している血液内の分子を見つけます。そして、みつけた分子をこれまでの診療情報や各種検査所見、治療内容と比較して、晩期合併症の予測が可能となるようなバイオマーカーを確立します。 研究の結果は、国内外の学会や研究会、論文等で発表させていただきますが、その際は個人情報の取扱いに十分注意いたします。
＜お問い合わせ窓口＞ 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町30-1) 呼吸器内科 氏名:神津 悠 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2402

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)